

平成23年3月9日に福井県坂井市、あわら市で発生した突風について
(気象庁機動調査班による現地調査の報告)

3月9日11時から12時にかけて坂井市三国町嵩で突風が発生し、ビニールハウス損壊などの被害が発生した。また、同日11時30分頃に、坂井市からあわら市にかけても別の突風が発生した。

このため10日、福井地方気象台は職員を気象庁機動調査班として派遣し、現地調査を実施した。

結果は以下のとおりである。

1. 坂井市三国町嵩で発生した突風

(1) 突風をもたらした現象の種類

この突風をもたらした現象は、特定できなかった。

(根拠)

- ・ 被害範囲が比較的狭く、被害や痕跡の分布に、帯状、円状など竜巻やダウンバースト等に特徴的なものは見られなかった。
- ・ 聞き取り調査からも、現象の特定に結びつく目撃情報や証言を得られなかった。

(2) 強さ(藤田スケール)

この突風の強さは藤田スケールでF0と推定した。

(根拠)

- ・ ビニールハウスの一部損壊が複数あった。

2. 坂井市からあわら市にかけて発生した別の突風

(1) 突風をもたらした現象の種類

この突風をもたらした現象は、竜巻または漏斗雲と認められる。

(根拠)

- ・ 現象の発生時刻に付近を活発な積乱雲が通過中であった。
 - ・ 市内を通過する漏斗雲を撮影した写真や動画があった。
- (特定に至らなかった理由)
- ・ 漏斗雲を撮影した写真や動画からは、渦の接地を確認できなかった。
 - ・ 明確な痕跡や被害が確認されていないことから、渦が接地していたのか不明である。

(2) 強さ(藤田スケール)

この突風の強さは藤田スケールでF0未満と推定した。

(根拠)

- ・ F0に対応する被害は確認できなかった。

* この資料は、最新の情報により内容の一部訂正や追加をすることがあります。